

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成17年3月3日(2005.3.3)

【公開番号】特開2002-350724(P2002-350724A)

【公開日】平成14年12月4日(2002.12.4)

【出願番号】特願2001-153855(P2001-153855)

【国際特許分類第7版】

G 0 2 B	13/26
B 4 1 J	2/44
B 4 1 J	2/45
B 4 1 J	2/455
G 0 2 B	3/00
G 0 2 B	3/06
G 0 6 T	1/00
// H 0 4 N	1/028
H 0 4 N	1/036

【F I】

G 0 2 B	13/26	
G 0 2 B	3/00	A
G 0 2 B	3/06	
G 0 6 T	1/00	4 2 0 C
B 4 1 J	3/21	L
H 0 4 N	1/028	Z
H 0 4 N	1/036	Z

【手続補正書】

【提出日】平成16年4月1日(2004.4.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】光学アレイ、それを用いた光学装置、及びLEDヘッド

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

各々の光軸に対して垂直方向に配列された複数の横シリンドリカルレンズ部と、少なくとも一列の縦シリンドリカルレンズ部とを有するシリンドリカルレンズを、仕切枠の上下に各レンズアレイのレンズの焦点距離に応じた間隔で配置したことを特徴とする光学アレイ。

【請求項2】

前記シリンドリカルレンズアレイは、それぞれ縦シリンドリカルレンズ部、横シリンドリカルレンズ部毎に同一の焦点距離のレンズを有する請求項1記載の光学アレイ。

【請求項3】

前記シリンドリカルレンズアレイは、縦シリンドリカルレンズ部と横シリンドリカルレン

ズ部を別のレンズにより構成した請求項1記載の光学アレイ。

【請求項4】

前記シリンドリカルレンズアレイは、縦シリンドリカルレンズ部と横シリンドリカルレンズ部を一体に構成した請求項1記載の光学アレイ。

【請求項5】

前記シリンドリカルレンズアレイは、縦シリンドリカルレンズ部を一列で構成した請求項1記載の光学アレイ。

【請求項6】

前記シリンドリカルレンズアレイは、縦シリンドリカルレンズ部を複数列で構成した請求項1記載の光学アレイ。

【請求項7】

前記シリンドリカルレンズアレイは、横シリンドリカルレンズ部の焦点距離と縦シリンドリカルレンズ部の焦点距離を等しく構成した請求項1記載の光学アレイ。

【請求項8】

前記シリンドリカルレンズアレイは、縦シリンドリカルレンズ部の焦点距離が横シリンドリカルレンズ部の焦点距離の3倍である請求項1記載の光学アレイ。

【請求項9】

横方向に複数形成された発光素子アレイと前記請求項1の光学アレイにより形成した光学装置。

【請求項10】

横方向に複数形成された受光素子アレイと前記請求項1の光学アレイにより形成した光学装置。

【請求項11】

横方向に複数形成されたL E Dアレイと、

各々の光軸に対して垂直方向に配列された複数の横シリンドリカルレンズ部と、少なくとも一列の縦シリンドリカルレンズ部とを有するシリンドリカルレンズを、仕切枠の上下に各レンズアレイのレンズの焦点距離に応じた間隔で配置した光学アレイとから構成されるL E Dヘッド。